

宇都宮市のまちづくり情報紙

No. 6 夏号  
2013.7

# まちぴあ

身近なつながりに出会おう



TAKE FREE

無料

特集

「競争」から「共創」の時代へ  
森と暮らそう!



ほっとねっと

とちぎユース  
サポーターズ  
ネットワーク

まちぴあ登録団体紹介

特定非営利活動法人  
宇都宮市ウォーキング協会  
／影絵光

まちづくり言いたい放題

子どものまちづくり参画と  
まちづくり学習

chigi  
1

「競争」から「共創」の時代へ

# 森と暮らそう!

世界レベルにおいて深刻さを増している自然環境問題。ところが、「自分一人がやったところで…」と、すでに諦めムードだったり、「そのうち誰かが何とかしてくれるだろう」なんーて、まるで他人事だったり。こんなにつちもさちも行かない世の中で、「まずは自分たちにできることから始めよう」とスタートしたプロジェクトがあります。今回は、そんな地域住民とNPOによる協働の森づくりにフォーカスします。

## Tochigi Conservation Corps



### 住民 × 地域資源 × NPO

#### 雑木林を公園に

小高い森にあるベンチに腰かけて、冷たい麦茶で束の間の一服。眼下に広がる田園風景を眺めながら、楽しそうに談笑するのは、今回の森づくりに協力しているNPO法人「トチギ環境未来基地」の若

者たち。きっかけは今から三年ほど前。地元の歴史や自然環境を地域資源として活用できないかと、平石地区まちづくり協議会などが中心となつて散策コースをつくる計画が決定。平石地区には雷電神社などの文化遺産やカワセミが飛来する山下川など、自然豊かな里山がま

だたくさん残っているため、まちな魅力を発信しようということになったそうです。その計画が具体的に動き出した際、トチギ環境未来基地のメンバーも地元中学生と一緒に遊歩道にスイセンを花植えするなど、気持ち良い汗を流しました。このプロジェクトの仕掛け人で、

山下川河川愛護会の会長でもある菊地昭三さん(70)は、「どんなに想いがあっても力タチになるまでには、人手不足の問題や専門的なノウハウなどさまざまな壁にぶつかります。その点、トチギ環境未来基地のみなさんをはじめ若者の協力が得られたことは実に大きかった」と、当時を振り返ります。

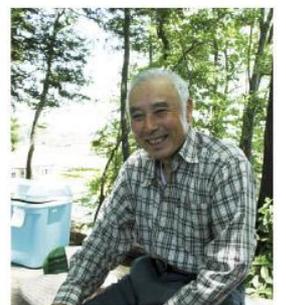
#### 若者パワーで貢献

「私が幼い頃、近所の川はすでに汚れていて、自然の中で思い切り遊んだという記憶はほとんどありません。だからと言って、このまま環境問題を先送りして良いとは思えません。いま私たちは現役世代が行動を起こさなければ、将来は…」と危機感を募らせたのは、埼玉県出身で現在はトチギ環境未来基地で事務局長を務める大木本舞さん(26)。

地球温暖化など環境問題の深刻化に加えて、経済の行き詰まり、NPO活動への機運の高まりなどを受けて、近年、大木本さんのよ



大木本さんはプロジェクト初期から手伝うメンバー



自然環境モデル地区を目指して行動する菊地さん

うに多くの若者が森づくりに関心を持ちはじめています。国土の約7割を森林が占める我が国では、自然と共に生き、地域で支えあう暮らしがかつては当たり前でした。そこには、四季折々の自然の恵みを感じしながら、真に豊かな暮らしを育んでいくための、さまざまな知恵や文化が息づいていました。こうした日本人が古来より引き継いできたものの中に、持続可能なまちづくりのあるべき姿を思い描いているのでしょうか。

一方、働き口としての林業は長らく低迷が続いていて、就業者も一貫して減少傾向。そのうえ高齢化の問題も深刻さを増しています。森を手入れすることは、自然災害も抑制し、豊かな水を育むことにつながります。このように経済と自然環境の現状について親切丁寧に教えてくれました。

## 宇都宮市平出町

### ひらりの里あさひが丘

# 森づくりプロジェクト

#### あさひが丘



平出町を流れる山下川西側にある高台。地元住民やトチギ環境未来基地らが協力して森の公園「ひらりの里あさひが丘」を完成させたのが昨年12月のこと。地元の平石地区山下川河川愛護会(菊地昭三会長)などが1万歩の散策コースづくりを進めていて、その取り組みの一環として、私有林を約1年かけて公園へと変身させたものです。

公園の周辺には、地元自治会や中学生などが協力して整備した遊歩道、市指定記念物のシダレザクラがある広琳寺や平出雷電神社などが点在。夏にはうつのみや花火大会の隠れスポットして大活躍。



もともとは人が足を踏み入れられないほど荒れた雑木林でしたが、市内在住の地権者が公園することを了承して公園づくりが実現。地元企業の好意でトイレを寄贈してもらったなど、まさにみんなでつくれた森の公園なのです。



若者にフィールドワークの機会を提供している塚本代表

「森づくり」は、コーディネートの方によっては、多様な社会ニーズや地域資源とも関連付けることができ、当初想定しないようなNPO活動に発展する可能性を秘めています。トチギ環境未来基地の取り組みで注目したいのは、環境問題と年々増え続ける若者のニート問題に、同時に取り組んで

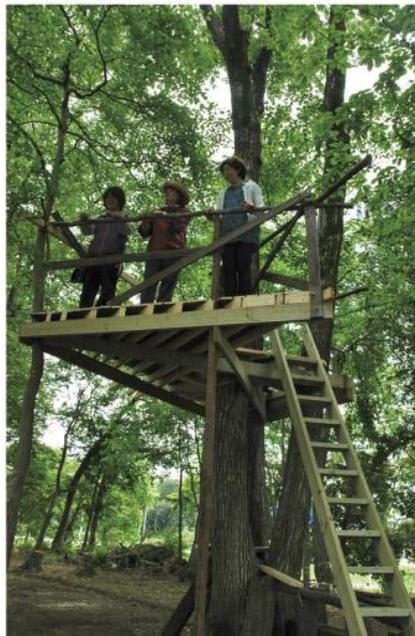
## 森と人をつなぐ

いるところ。です。

「それぞれ別の深刻な問題であるようで、その解決にあたっては同時に取り組むことでより大きな効果が得られると、経験的に感じています」と話すのは、代表理事の塚本竜也さん(36)。

そのモデルとなるプログラムが米国にあって、年間二万人以上の若者が活動に参加して、大きな成果をあげています。塚本さん自身約一年間、日本を離れて現場でのキャリア教育を受けました。その経験が契機となってNPO活動にのめり込んでいったそうです。「本来であれば社会を活性化ける存在である多くの若者が、社会の中で自らの存在意義や居場所活躍の場を見出せず、持っている

可能性を活かせないまま、くすぶった時を過ごしています。そんな若者の力を引き出し、地域の課題に共に取り組む循環させたい。未来は明るく変えられるはず」と、塚本さんは力を込めます。



ブランコなど遊具の整備もみんなの手づくりで現在進行中

ながら未来の種を撒きつけています。「まずはできることから」という小さな行動は、やがて他の地域にも広がり、持続可能なまちづくりへと発展していきます。引き続きプロジェクトの行方にも注目です。

**団体紹介**  
**特定非営利活動法人 トチギ環境未来基地**

若者の力で、環境問題、地域の抱える課題を解決していく  
 社会貢献を通じ、次の地域・社会を担う若者をはぐくむ  
 地域の価値や人のつながりを再生し、市民の手による新しい社会をつくる

上記3つをミッションとして、長期プログラムを実施しているNPO法人です。

**所在地** 栃木県芳賀郡益子町大沢 2584-1 明在庵内  
**TEL&FAX** 0285-81-5373  
**WEBサイト** <http://conservation-corps.jp/tochigi>  
**代表理事** 塚本竜也

### 主なプロジェクト

**創造の森プロジェクト**

宇都宮市下栗町にある「風と緑の幼稚園」(大塚雅斗理事長)に隣接する森を「創造の森」として整備。木の枝や葉などを使ってぬくもりのある木製椅子や机の創作活動を行っています。親子で楽しみながらの創作活動ということで、無理なく身近な自然と向きあうことが可能です。幼児教育の新しい取り組みとしても注目を集めています。

**みんなの力で!「苗木 for いわき」プロジェクト**

東日本大震災にともなう津波により、いわき市四倉~沼内のクロマツの海岸林も大きな被害を受けました。美しい景観と、海岸林本来の機能を取り戻すために、クロマツを植林していく必要があります。それには膨大な苗木を必要とします。そのため、みなさまからの寄付を財源に苗木を購入し、市民の力で育て、植えるプロジェクトをスタート。



まちづくり活動仲間を目指すもの

# ほっとおっと

No. 6

## とちぎユースサポーターズネットワーク

ソーシャルビジネスや社会事業家が、今注目されています。過疎化、少子高齢化、環境・貧困問題といった社会的課題を持続可能な事業として自ら解決しようとする新しいビジネスの形です。その新しい生き方を目指す若者を育成しようとする団体があります。“次の社会を創る” 試みを追います。

### 「若者にチャレンジの場を」

2月末、宇都宮大学で開催されたアイデアプランコンテスト「IDEA▼NEXT」。

「もったいなかったらいいのに…」とい



「iDEA▶NEXT」最終プレゼンテーションの様子  
1次審査を通過した10組が熱い思いを発表しました

### 「課題解決を担う若者を育成」

う思いを具現化することで、若者が社会に対して新しいアプローチをする舞台を作りたいと、NPO法人とちぎユースワーカーサポーターズネットワーク(以後TEAMユース)が今年初めて開催しました。

「IDEA▼NEXT」が他のビジネスコンテストと大きく違うのは、「アイデア」という新しい価値を大事にしたいという想い。問題認識や解決へのアプローチといった経過を重視し、企画全体を通して「育つ」ということに重きを置いています。

TEAMユースは2008年7月に設立。当時、ボランティアコーディネーターとして地域課題を直視していた代表の岩井俊宗さんは、課題解決を担っている若手が少ないことを危惧していました。同じ思いを抱えていた塚本竜也さん(現NPO法人トチギ環境未来基地代表)と

共同で団体を立ち上げ、学生インターン制度を始めます。ただの職場体験ではなく、一緒に仕事を創る経験を通じて、社会課題解決と若手の育成の両輪を目指しました。そのインターン制度が発展したのが、事業家の元で行う実践型インターンシップ「GENBACHALLENGE」です。課題解決の現場に挑戦する若者は物事をよりソーシャルな問題として捉え直すきっかけとなり、若者自身の成長にも繋がっています。



社会事業家へのインタビューを通じて、  
インターン生は課題解決に何が必要かを学びます

### 「課題解決のロールモデルを」

5年間活動してきて、社会事業家を育成するのは簡単なことではないと痛感したという岩井さん。様々な事業家との出会いの中で、事業家には自ら切り拓いてい

### 取材後記

「チャレンジする若者を応援したいという大人を増やしたい」と言う岩井さん。社会的課題の解決は問題意識から。身の周りにある問題に気付く土台や基盤が育つと社会全体が変わるきっかけになると思います。(鈴木)

Tochigi  
Youth  
Supporters  
Network\*

NPO法人  
とちぎユース  
サポーターズ  
ネットワーク

〒320-0808 宇都宮市宮園町8-2 松島ビル2F  
TEL&FAX. 028-612-3341  
E-mail: ysn\_office@tochigi-ysn.net  
URL: http://www.tochigi-ysn.net/

く力が必要であり、手厚く支援するほどその力が欠落するという矛盾との葛藤がありました。そこで、若者が自覚め・切磋琢磨できる環境づくりに努め、ようやく若者を育み応援してくれる基盤ができてあります。まちのあちこちで若者のチャレンジが化学反応を起こし、地域全体が元気になっていく、そんな未来を目指してTEAMユースは今日も汗を流します。

ちよつと気になる

# コレクション

## 宮染めシャツでスーパークールビズ

写真のシャツをご覧になっ

た方、いらつしやいますか。

宇都宮市の伝統工芸「宮染

め」によるもので、青いシャ

ツにはきぶなやカクテル、

ぎょうぎなど宇都宮を代表

するブランドが描かれてい

ます。このシャツを製作した

のは、宇都宮市自主研究グ

ループ「MiyaBiz」さ

ん。宇都宮市を元気に！を合

言葉に市職員が集まって立

ち上げました。東日本地震

災による電力不足のさなか、

市役所内で職員が着るスー

子どもと家族が安心して治療に専念できる  
空間をボランティアの力で支えています



### 宮染めシャツ

お問い合わせ：  
宇都宮市自主研究グループ  
MiyaBiz 代表 今崎泰浩  
TEL.028-632-2443  
宇都宮市経済部産業政策課内  
入手方法：  
東武デパート 4F紳士カジュアル  
TEL.028-651-5554

（MiyaBiz代表今崎さん）とお薦めのブランドシャツで涼しい夏を過ごしてみませんか。



は東武百貨店さんが市販に協力しています。「着てみれば涼しさが実感できますよ」

## とっておきの

# 関心空間

### 病児と家族の 第一の我が家

病気に悩む子どもに

とって、一番大切なこと

は「家族がそばにいる

こと」です。ドナルド・

マクドナルド・ハウス

は、病気の子どもとその家族が、治療を受ける病院のそばで安価に滞在できる宿泊施設。

日本全国に8か所、世界には320か所ある内の一つ「とちぎハウス」では、遠方からもお子さんとその家

族が治療を受けにやってきます。開所して6年で2200家族を受け入れ、2012年は381家族が利用された一方で、対応しきれなかったご家族も多くあつたそうです。

施設の運営は、寄付と募金のボランティアの力によって行われ、マクドナルドにある募金箱でも活動を応援す

## うつのみや発の 話題人

木と動物の皮だけでつくられたアフリカの太鼓ジエンベ。造形作家の汐崎さんはこの楽器で独特のリズム、様々な音色を奏でます。「内面ができてい



MACHI  
DUKURI  
TOPICS  
「まちづくりって何？」そんなアナタにディープな地元ネタから、今が旬のレア情報まで、まちびあから「まちパワー」を発信します!!

## 大地に根ざした アフリカ音楽に 魅せられて



「フンババ」昨年の夏、まちびあ☆Kidsひろばで子供たちに楽しい時間のプレゼント

く時期に、楽しい経験、心の支えとなる体験のお手伝いができれば」との思いから、子どもたちにジエンベ指導を続けています。

汐崎さんが、民族音楽に興味を持ったのは「アフリカ」という一枚のLPレコー

ることができません。子どもたちの笑顔を増やすために、みなさんからの応援を待っています。



利用者の様子

## ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ

〒329-0434  
栃木県下野市祇園 2-36-3 自治医大2号館 3階  
TEL. 0285-58-7551 FAX. 0285-44-4154  
URL : <http://www.dmhcj.or.jp/house/list/tochigi.html>  
(※とちぎハウスのページ)  
ツイッター : <http://www.dmhcj.or.jp/>

### 汐崎 弘 さん

造形作家、音楽家、西アフリカの楽器を使ってオリジナル曲を演奏する「フンババ」のメンバー、ギニア人音楽家カラモコ・カマラ氏に師事  
趣味：散歩



ドとの出会いから。その後、「フンババ」という楽団に所属して活動の幅を広げています。「やれる範囲で楽しむこと。好きになること」という型にはまらないスタンス。様々なジャンルの仲間とコラボレーションしながら、地域のイベントや、学校、施設などで独自のワークショップを展開しています。



上演後の笑顔は充実感でいっぱい

現在のメンバーは10名。定例会のほかに、年14〜15回は保育園や幼稚園など依頼先での上演を続けています。「もともとは知人や有志が集まって立ち上げた団体。気がつけばもう6年ですか」と代表の石倉さん。

「アイアイ」「三匹の子ぶた」「ジャックと豆の木」などの演目で、一緒に歌い、笑い、ときには子どもたちから正義感あふれる言葉が飛び交うほど観客はどんだん物語の世界に引き込まれて行きます。「やっていてよかった」と実感する瞬間です。

ただ、そのような充足感を味わうには、当然ながら地道な努力が欠かせません。



臨場感あふれる影絵のひとコマ

## 美しい光の織りなす影絵劇

ひとつの物語を完成させるのに脚本から暗体づくりまで1年以上にも及ぶます。なかでも暗体づくりは一人ひとり手作業で進めていき、取材したこの日も「指の付け根が凄くいたいです」と時折指を曲げたり伸ばしたり。「この作業が一番大変よね」と一同声を揃える。

【団体名】 **影絵光**

【活動日】 日曜日・水曜日 月6日  
【活動場所】 東生涯学習センター 及び 宇都宮市まちづくりセンター まちびあ  
【連絡先】 宇都宮市まちづくりセンターまちびあ



例会には毎回70人以上の仲間が集まります

## 気軽にできて奥が深い ウォーキング

桃色の小旗を先導に、街中や自然の中を楽しそうに歩いている集団を見かけたなら、それはきっとこちらの団体でしょう。会員は300人以上。健康ウォーク・交通安全や夕涼みなどのテーマを設け、年20回弱のウォーキング例会を行っています。コース距離が5km・

10kmと選べるので、体力や体調にあつたウォーキングができます。「家に行くと決まった人とは話せないけど、いろんな人と話せて楽しい。健康づくりもできて一石二鳥」と会員の方。交通ルールやマナーを守り、自然に親しみながら、みんなで気持ちよく歩きます。初

心者の方とベテランの方が、話をしながら一緒に歩くことで、すぐに仲良くなれるのも魅力です。より効果的な歩き方を学べる教室も開催。少しの指導で、自分の歩き方が変わるのがわかります。「ウォーキングは、誰もがいつでも、どこでも、自由にできるスポーツです。健康寿命が叫ばれている昨今ですが、ぜひ自分に合った正しい歩き方で健康の維持・向上に努



みんなで歩くと、長距離もあつという間です

め、楽しいヒトトキを過ぎませんか」と篠崎会長。興味のある方はぜひお電話ください。

【団体名】 特定非営利活動法人 **宇都宮市ウォーキング協会**

【所在地】 宇都宮市元今泉5-9-7まちびあ内オフィス (10番ブース)  
【連絡先】 TEL.028-663-3220 (平日14~16時のみ)  
【定例会等】 随時 当日受付 (宇都宮市内、県内外観光地等)

## 陣内先生の

# まちづくり

## 言いたい放題

6

### 子どものまちづくり参画と まちづくり学習

言い尽くされたことではありませんが、わが国は、超少子・超高齢化、人口減少という「縮退社会」に突入しました。このような中、持続可能な地域社会を形成していくためには、今まで以上に地域資源に着目したまちづくりが必要となります。「ないものねだり」ではなく、「あるもの探し」「あるもの活かし」のまちづくりです。では、このような基本スタンスを持つまちづくりは誰が担っていくべきなのでしょう？ 答は、「みんな」。つまり、大人も子どもも、男も女も、障がいのある人も、分け隔て無く「み

んな」です。

本研究室では長らく子ども参画のまちづくり及びまちづくり学習に関する研究と実践に取り組んできましたが、今ほどそれが必要とされている時期はないと感じています。なぜなら、東日本大震災からの復興計画の中に子どもの視点をいれるべきと考えるからです。復興まちづくりはこれから長期間にわたる取り組みとなります。少年少女たちは、正に復興まちづくりの担い手になっていくのです。だとすれば、復興計画の立案プロセスにしっかりと彼・彼女たちが参画できる仕組みをつくるべきでしょう。

本年五月五日、「第四回東北子どもまちづくりサミット」ぼくらがうけつぐ夢のまち―が仙台市で開催されました。当日は、岩手県山田町、陸前高田市、宮城県石巻市の子どもまちづくりクラブのメンバーが、復興に向けた活動などを発表するとともに、参加者より良いまちにしていくために話し合いました。



教育学の大家である汐見稔幸氏（東京大学教育学部名誉教授）は、「教育とは、どんな社会をつくるのか」というところに帰着し、教育学はつまるところまちづくりであり、社会づくりなのである」（住宅総合研

究財団・住教育委員会編著『屋根のない学校』萌文社、二〇一二年）と述べています。この汐見氏の論に加えて、子どもがまちづくりに参画することの意義については、大人の変容を誘発するというのが言えると思います。例えば、本研究室の院生が二年間にわたって取り組んだ本市O地区における子どもまちづくりプロジェクトでは、直接・間接に関わった大人の意識が前向きになったことが見受けられました。

持続可能なまち及びまちづくりに向け、本市でも子どもまちづくり参画とまちづくり学習の展開が期待されます。

### 書籍紹介

## 陣内先生が推奨する この一冊！



日本建築学会編

「まちづくり教科書 まちづくり学習」  
第6巻  
丸善 平成16年9月



陣内 雄次  
プロフィール

2007年、宇都宮大学教育学部教授。NPO法人宇都宮まちづくり市民工房の理事長としてまちづくりの実践にも関わるとともに、コミュニティカフェ「ソノツギ」を運営している。著書に「コミュニティ・カフェと市民育ち」など。

このコーナーでは市民のみならず、市民活動関係者、行政関係者などからのご意見、ご感想をお待ちしています。紙面上での意見交換へと発展することを期待します。ご意見・ご感想はまちびあ広報部へ。

## まちびあ ま ち び あ 書 庫 か ら

# PICK UP!

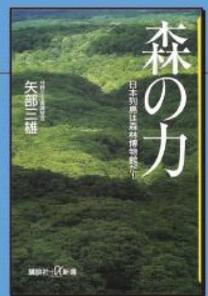
あなたが森に関わるとき、  
どんなイメージを想像できますか？

里山の風景（鎮守の森・トロの森・社の森・縄文杉…）日本人の心の中にいつも森は生きてきました。21世紀の社会を支えていく子どもたちに、お父さんお母さんから伝えていってほしい、自然の博物館のような森の力、多くの生命を育む森林のメカニズム。本書では、このような森の力を利用しながら、これまで守ってきた人々の知恵をわかりやすく教えてくれています。

近年、環境における森の価値が大きくクローズ

アップされ、各地でボランティアグループが森林づくりに汗を流しています。本当に森が必要不可欠で、それを後世に保ちたいと思うのならば、まず私たち人間側の力量をあげなければなりません。そして結局森に入るのが一番近道でもあると気付くのです。

森のメカニズムと地球環境における森の価値を理解し、これまで育んできた循環思想を生活の中に取り戻すためにも、是非多くの方に読まれてほしい一冊です。



### 森の力

日本列島は森林博物館だ！

矢部三雄 著

講談社プラスアルファ新書 2002年発行

助成金情報

平成25年度 宇都宮市市民活動助成金交付団体が決定しました

宇都宮市では、ボランティア団体やNPO団体の自立を促進し、市民活動の活性化を図る「宇都宮市市民活動助成基金」を設置し、財政的な助成による応援をしています。今年度の市民活動助成金交付団体を決定する審査会

が、5月10・11日に市役所で開催されました。この審査会では、応募した10団体による申請内容の発表が行われ、スタート支援コース4団体、ステップアップ支援コース3団体への助成が決定しました。

スタート支援

立ち上げて間もない団体などに、事業の開始など団体の自立化を支援するコース

団体名	団体の活動目的(規約等)	事業内容
1 KENC	高齢者の元気アップと笑顔の場をつくり 孤立・閉じこもり等のない地域づくり	月1回の定例会のほかに、老人ホームなどへの施設訪問活動
2 きづきの学校	地域の絆を深める交流促進の場づくり、講座運営による人材育成やサポート	コーチングやコミュニケーションの講座開催による人材育成
3 特定非営利活動法人エンディングサポートセンターコスモス	遺言書作成の支援業務や情報提供を通じて、相続争い等のもめごとのない社会を目指す	遺言に関するセミナーや相談会の開催、ニュースレター発行

ステップアップ支援

結成後2年以上経過した団体に、事業の拡大など活動の活性化を支援するコース

団体名	団体の活動目的(規約等)	事業内容
1 歌謡劇団「若」	高齢者・障がい者に歌や踊りを披露して楽しんでもらうボランティア活動で社会に貢献	月2回程度の頻度で、デイサービスなどへの施設訪問活動
2 宮のにぎわい山車復活プロジェクト	山車の復活を通してにぎわいを取り戻し、歴史的文化遺産を後世に伝える	復活の資源(4千万円以上)のための募金活動、PRイベントの開催
3 みつば点訳友の会	木製点字版を使用して、点字の啓発や盲人への理解、交流へと共に歩む人材の育成	宇都宮市内の小学校や福祉施設へ訪問してのボランティア活動

まちぴあ最新情報にアクセス! <http://www.u-machipia.org>

まちぴあ

まちぴあ新規登録団体 (2013年4月30日現在 登録団体数227団体)

**社団法人 巨樹の会**  
宇都宮リハビリテーション学院  
高齢者や障害者などへの支援を通して、公衆衛生と医療を充実させ、社会福祉に寄与する

**NPO 法人 エンディングサポートセンター コスモス**  
多様化する死と葬送の課題を解決に向けて支援し、尊厳ある死と葬送の実現に寄与する

**こころ(みんなの居場所)**  
子どもたちに遊びと場を提供し、子育て講座などを通して、児童母子福祉に貢献する

**ひまわり教室**  
外国人の安定した生活に向けて、日本語学習を支援し、宇都宮市の国際交流に寄与する

**コスモス日本語教室**  
在日外国人に対して、日常生活などで必要な日本語の学習を支援し、国際交流に寄与する

**なごみの会**  
写経や法話などで歴史的な考えにふれ、日々の悩みや迷いを語り合う

**衛エム・アール・ピー naoc あおぞらきつず事業部**  
自然環境を利用した事業を行い、子どもの健全育成と自然体験活動の普及に寄与する

**九条の会・栃木**  
各国の憲法や法律に関する学習会などを通じて、平和で民主的な地域づくりに寄与する

**MCFコンサート開催事務局**  
地域の音楽文化の向上などを旨とし、栃木に関わるプロによるオーケストラ演奏会を開催

**ベビーマッサージ教室〜Peach〜**  
ベビーマッサージ教室で親子のリフレッシュする場を提供し、地域の子育て支援を行う

**栃木県地球温暖化防止活動推進センター**  
地球温暖化対策に関する普及啓発などにより、地球温暖化防止に寄与する活動を促進

**たんぽぽフォークダンス**  
様々な世代の市民とのフォークダンスを通じた交流活動で、スポーツ振興に寄与する

**MOA インターナショナル栃木**  
人びとの健全な精神と身体を育む活動で、健康で豊かで和やかな家庭づくりに寄与する

**Dream Angel**  
居場所活動の運営を行い、人とのコミュニケーションに不安のある子どもたちを支援する

**第一学院高等学校 宇都宮キャンパス**  
様々な活動の体験を通して、学生たちが地域に関わる「教育ボランティア」を行う

**エパフラ**  
様々な世代の人たちへフラダンスの楽しさを伝え、地域のスポーツ振興に寄与する

**NPO 法人 ルヴァン**  
障がい者の福祉などに関する分野で啓発や支援活動を行い、共生社会の推進に寄与する

**Love & Smile English**  
子どもと母親への英語活動を通じて、コミュニケーション豊かな地域づくりを行う

**AN・フラワーサークル**  
暮らしに花を取り入れる活動で、人びとの交流を促し、生活に潤いと安らぎをもたらす

**宇都宮フットボールクラブ サッカースクール・キッズ**  
サッカーを通じて、健全な心身育成を図り、スポーツ文化の発展や活性化に寄与する

**ママタイムサークル WEST**  
未就園児の子どもをもつ家族を対象に居場所活動を行い、児童・母子育児に貢献する

**ラウンドダンス メジャー**  
ラウンドダンスの活動などを通して、地域との交流し、地域活動に寄与する

**教育サークル はんたま**  
学校教育での教育技術を教員や教員志望者に伝達することで、社会貢献に寄与する

**スポーツサポートクラブ**  
スポーツ活動を通して、会員の技術を向上させ、市民のスポーツ運動の振興に寄与する

市民活動助成基金  
ご協力ありがとうございます

- 宇都宮屋台横丁
  - ゆずりば
  - 宇都宮中央ライオンズクラブ
  - 宇都宮環境保全共同組合
  - 北山 正行
  - 北山 利江
  - 船津 祥
- (順不同・敬称略)

市民活動助成基金とは

ボランティアやNPOの活動を財政的に支援する「市民活動助成金」の財源で、企業や市民の皆様からの寄付で支えられています。

寄付を通して社会貢献活動に参加しませんか?

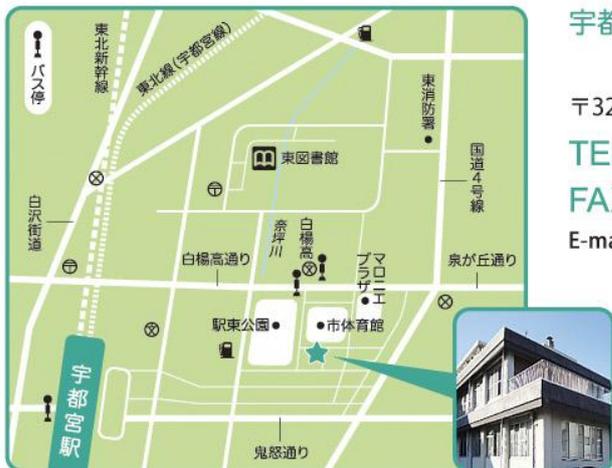
宇都宮市役所 みんなでまちづくり課 市民活動グループ  
TEL.028-632-2886

URL: <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

※トップページ▶(分野別で探す) 市民協働・コミュニティ▶ボランティア・NPO

メルマガ 購読者 募集中!! 鳥の目&虫の目 十まちぴあ通信

登録はE-mail / 窓口にて! [info@u-machipia.org](mailto:info@u-machipia.org)



宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ

(指定管理者: 特定非営利活動法人 宇都宮まちづくり市民工房)

〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5丁目9-7  
TEL.028-661-2778 / 028-661-2779  
FAX.028-689-2731

E-mail: [info@u-machipia.org](mailto:info@u-machipia.org) URL: <http://www.u-machipia.org>

開館時間 午前9時から午後9時30分まで  
休館日 年末年始(12月29日~翌年1月3日)  
臨時休館(施設点検等)  
JR宇都宮駅東口から徒歩15分 駐車場 28台

まちぴあ情報紙の音訳版ができました。ご希望の方はまちぴあまでご連絡ください。